資料 4

貴生川駅周辺特区構想のパブリックコメントの結果（主な意見まとめ）

１．本市の人口減少対策を進めるうえで、JR 草津線の利便性向上、貴生川駅周辺の活性化の必要性は高い。

２．一方で周辺居住者（地権者）の思いと乖離して、駅南口の整備が進むことを懸念されており、丁寧な対話の場づくりが必要ではないか。

３．貴生川駅周辺の再開発は市全体に関わるものであり、多くの市民が議論できる機会を設けてほしい。

４．具体的な事業（特に駅南口）を進めるにあたっては、事業費、事業内容、スケジュール等をできるだけ明確に示してほしい。

５．大規模な建築物は望まない。スモールスタートの取組となってほしい。

６．中長期の計画は社会、経済情勢に左右される。行政は一度策定した計画に固執するのではなく、柔軟に内容を見直しながら進めてほしい。

７．公園や杣川など「自然との調和」を重視した取組となってほしい。

８．駅周辺は浸水危険区域もあり、活用にあたっては防災・避難対策が必要。

９．公共交通の結節点であり、飯道山や忍者を活かした観光振興への取組に期待。

１０．貴生川公民館は老朽化しており、地域住民が利用できる生涯学習や図書館等の機能が必要。

１１．高齢者、女性、若者など、市内外のひとが集まり、様々なチャレンジできる場所（フリースペース、公園、チャレンジショップ等）となってほしい。

１２．生鮮食品などの買い物や地域住民が気軽に立ち寄れるカフェなどを希望。

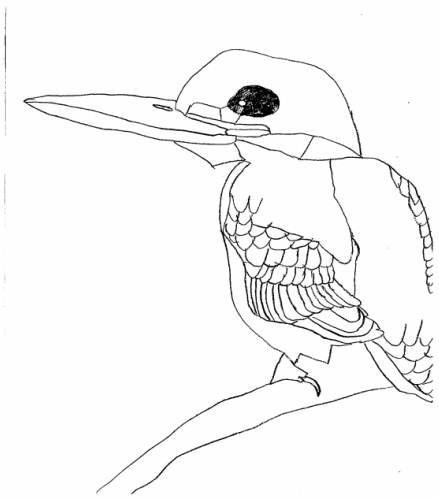
１３．駅へのアクセス道路の整備、駅北口ロータリーの渋滞の解消が必要。

貴生川駅周辺特区構想（案）のパブリック・コメントの結果について

意見提出者　１４名
意見内容　　７２項目

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
1	全体	―	貴生川駅周辺の整備にどのくらい税金がいるのか具体的に公表してほしい。	貴生川駅周辺整備に係る具体的な事業や事業費については、本構想に対する市民、議会、行政の一定の合意形成を図ったうえで、提示してまいります。	無	A
2	全体	―	特区構想によって駅周辺の住民の声をくみ取っているかが知りたい。	本構想の策定にあたり、貴生川地域の区長会、自治振興会、商工会等の代表者で構成する「貴生川駅周辺都市づくりワーキンググループ」と、庁内に部局横断組織として設置した「貴生川駅周辺特区構想プロジェクトチーム」において、度重なる議論の場を設けるなど、地域の課題やニーズ等を踏まえたうえで策定したものです。	無	A
3	全体	―	全文共通で各項目中に「○・・・」とあるが、段落ごとに○は不要ではないか。箇条書きとするなら、接続詞は不要かと思う。一つの文章としても読みやすいので特に○をつける必要はないのではないか。	ご意見を踏まえ、接続詞等を調整します。	有	E
4	全体	―	貴生川駅周辺特区構想、貴生川駅周辺をどのようにデザインしていくか、北口側のコンセプト、南口側のコンセプトを示し、ゾーニングの図があればわかりやすのではないか。	貴生川駅周辺地域の将来デザインを示すゾーニング図については、個別事業に係る地権者等との合意形成を図りながら、作成する必要があると考えています。事業の進捗に伴い適切なタイミングで提示してまいります。	無	E
5	全体	―	各施策について記載されていますが、執行管理や進捗管理をどのようにされていくのか記載があ	本構想に基づき、道路や施設等のハード施策だけでなく、規制緩和などのソフト施策も検討していると	無	E

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
			ればさらにいい。	ころです。別途参考資料として、本構想に基づく「アクションプラン案」を示すとともに、施策ごとの具体的な進捗管理は個別計画のなかで提示してまいります。		
6	全体	―	構想のために、執行管理や進捗管理をされていないという方針であれば、P4 の施策は「方針」等にとどめておく方がよいのではないか。ただ、構想であっても進捗管理をした方がよいと思います。	Ｐ４については、貴生川地域区長会、貴生川地域自治振興会、貴生川みらい会議、商工会等で構成された「貴生川駅周辺都市づくりワーキンググループ」におけるワークショップ等を経て定めたものであり、具体的な事務事業ではなく、施策の方向性を定めたものです。このことから、「施策の方向性」と記載することとします。 なお、短期の進捗管理については、第２次甲賀市総合計画（第２期基本計画）実施計画で明らかにするとともに、基本計画の期間である４年ごとに構想の進捗状況を確認しながら、進めてまいります。	有	E
7	全体	―	グローバルな視点を持ったローカルな地域づくり。都会にするのではなく、田舎なりに成長する。	第２次甲賀市総合計画基本構想において「ローカル、グローバルの双方による人材育成や多世代、多文化共生の社会づくり」を掲げているところです。本年３月に策定した第２期基本計画においても「新しい豊かさ」を追求する視点として「都市部とのアクセスメリットを活かした便利なゆっくり暮らし」を掲げており、これらの視点を大切したうえで、本構想を進めてまいります。	無	F

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
8	全体	―		本市の鳥に制定している「カワセミ」は水辺の環境や生物層の豊かさを象徴するものであり、美しい姿は人を惹きつける魅力を持っています。本構想で目指す貴生川駅周辺地域の将来の姿は、豊かな地域資源と人の賑わいの融合による魅力あるエリアであり、飛び交うカワセミの姿もイメージしながら進めてまいります。		F
9	全体	―	民間企業連携や補助金活用により、市の魅力創造⇒貴生川駅集客⇒駅から私鉄・バスによる市内各所へのインフラ再整備を考える。市の「魅力を国内外に発信し、永続的な観光を根付かせ、雇用・定着に繋げるべく、町おこしコンサル等に「外（県外）から中（市内）を見た」意見を求めてほしい。	これまでも貴生川駅周辺のポテンシャルについて、大学教授やコンサルティング、大手デベロッパー等のご意見を伺いながら検討してきたところです。 地域資源を活かした観光振興は、地域住民も求める効果のひとつですが、地域特有の観光資源が全国有数の素材といえるか否かは、市外のコンサルティングや民間人材等の客観的な意見を踏まえて、検討してまいります。	無	G
１０	全体	―	貴生川駅の再開発は貴生川地域の発展というだけではなく、甲賀市全体の地域価値を高めるものと考えます。貴生川駅周辺をよくすることは、必ず甲賀市をよくすることにつながると思います。	貴生川駅周辺の魅力や価値を高めることで、市内全域へ波及効果を生み出せるよう取組を進めてまいります。	無	H
１１	全体	―	特区構想の策定にあたっては、一般住民が直接思いを共有し意見を交わし合える機会（意見交換	貴生川駅の重要性や課題について、より多くの市民の皆さんにご理解いただくため、タウンミーティン	無	H

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
			会・勉強会）を作ってほしいです。	グや意見交換会等の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大で開催が難しくなりました。今後とも感染状況を見据えたうえで、勉強会等の機会を設けてまいります。		
１２	全体	―	実際に貴生川駅の周辺に住む人たちにとっては日々の生活に密着するものですので、その方たちの生活が激変する事のないように配慮しながら、市の所有する施設と土地を有効に活用してほしいと思います。	駅周辺の整備にあたっては、駅周辺の住民や地権者の皆さまと丁寧な対話を重ねたうえで、具体的な土地利用を進めてまいります。	無	H
１３	全体	―	ここにしかないものは、自然、歴史、人だと思うので、それを大切にできる計画にしてほしいと思います。	地域ならではの歴史・文化、自然を守り、何よりも「ひと」を大切にして、具体的な施策を進めてまいります。	無	I
１４	全体	―	「そこそこ便利な田舎」を目指す。（懐かしい未来のイメージ）	都市部とのアクセスメリットを活かした「ゆっくり暮らし」はポストコロナ社会におけるキーワードとなるものです。「便利な田舎」という本市の魅力を活かしたまちづくりを進めてまいります。	無	L
１５	全体	―	市民が広く関心が持てるよう「出資者」になってもらって、意識をつなげる。例えば、苗木を植えたりするオーナーになってもらうなど。クラウドファンディングよりももっとハードルを低くする方がよいと思います。	貴生川駅周辺の活性化は、市の一部の地域の取組ではなく、市全体の課題解決となるものです。駅周辺の取組が、市民、市民活動団体、民間事業者などを含めた「オール甲賀」の取組となり、資金調達も含めて応援ができる仕組づくりについても、検討してまいります。	無	L
１６	全体	―	どんな場面にも言えることですが、時代に応じた柔軟かつこまめな計画の見直し、そして、それを決断する勇気（時代の変化で不必要だと思える過去からの公共工事の計画を止めるなど）を持った甲賀市であってほしいです。	ポストコロナ社会という大きな時代の転換期を迎えており、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら、社会情勢に合わせて、柔軟に計画を見直しながら進めることが大切であると考えています。 本構想の上位にあたり、市の羅針盤である第２次甲	無	L

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
				賀市総合計画（第２期基本計画）については、令和６年までの４年間を計画期間としており、貴生川駅周辺特区構想についても４年ごとに構想の考え方を確認しながら、計画を進めてまいります。		
１７	全体	―	特区範囲が半径８００メートルと言う事であれば現在調整区域となっている地域はまず市街化区域（或いは特区としてこれに準ずる区域）とし公共建物、複合施設、住宅等が建てられる自由度を持たせる地域とする必要がある。（市街化無くして「まちづくり」無し）	人口減少が続く局面においては、市街化区域の拡大が厳しく制限されています。このことから、既存の市街化区域の容積率の緩和や市街化調整区域における地区計画等の設定など、様々な手法で新たな市街地の確保を進めてまいります。	無	M
１８	全体	―	市内の人口は短期的には必ず減少しますが、中長期的には維持あるいは微増できる政策が必要だと思います。 そのもっとも大切なキーポイントが、貴生川駅周辺の再構築だと思います。 具体的には駅の利便性を活用し、山河の自然と観光資源を再認識することだと思います。 貴生川駅を発着するコミュニティバスを増やし、山間部へは将来的に自動運転にします。5G の通信網もいち早く敷設して、駅周辺の医療機関もリモート診療などに対応できます。	日本全国で人口減少が進むなか、本市の 2015 年の人口は 90,901 人ですが、国の推計（準拠）によると 2060 年には 59,565 人になるとされています。これらの状況に歯止めをかけるひとつの手段として、ご意見のとおり貴生川駅周辺の活性化があると考えています。 公共交通の結節点である貴生川駅を中心とした鉄道、コミュニティバスとの接続性や、介護、子育て、医療等の機能を充実することで、貴生川駅周辺における「暮らしやすさ」を高めてまいります。	無	N
１９	全体	―	駅周辺には杣川があり、川辺に公園や散策道などが整備されれば、きっと健康増進にも役立ちます。 飯道山まで足を延ばせば、修験者・忍者の歴史まで感じられるので、県外からも多数の人が来られるのではないでしょうか。 うまくSNSなどのインターネット環境を利用すれば、まだまだ観光面でも伸びシロがあると思いま	杣川運動公園の利活用については、地域住民の皆さまとの意見交換のなかでも、大きな期待が寄せられているところです。これらの活用にあたっては、地域住民や利用者、河川管理者である県や関係団体と協議のうえ、検討してまいります。 また、貴生川駅から飯道山へのルートについては、飯道山観光協会において、登山道の整備やハイキング等で活用いただいているところですが、修験道の	無	N

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
			す。 ナンバーワンではなくて、オンリーワンを目指せばもっと良い面が見えてくると思いますので、知恵を出し合っていければ幸いです。	聖地としての歴史、自然を活かした地域づくりが進むよう、ご意見を踏まえ検討してまいります。 ご意見のとおり、本市には東海道、忍者、信楽焼など全国を代表する観光資源があります。これらをさらに伸ばすことができるよう、市民、市民活動団体、民間事業者とともに「オール甲賀」の取り組みを進めてまいります。今後とも、ご協力いただきますようお願いします。		
２０	２ページ	―	この構想は市民、行政等でしなければならない政策である。	本構想は貴生川駅の重要性を市民、議会、行政等で共有するとともに、中長期的に進めるものです。 本構想の実現に向けては、民間事業者による協力も必要不可欠であり、オール甲賀の取り組みとして進めてまいります。	無	A
２１	２ページ	１．趣旨 ２．目標年次	１趣旨、２目標年次とありますが、目標を書かれた項目がありません。おそらく趣旨の５つ目の項目が目標かと推測しますので、これを目標として「１趣旨　２目標　３目標年次」に整理すると見やすいのではないか。	ご意見を踏まえ、文言等の体裁を整えます。	有	E
２２	２ページ	２．目標年次	目標年次の「リニア・・・見据えるとともに」は、趣旨で記載されているので、再度記載の必要はないのではないか。	ご意見を踏まえ修正します。	有	E
２３	２ページ	２．目標年次	ＶＵＣＡな時代において十数年先の計画着手までに、毎年の市の財政や人口構造、外的要因等の変化に合わせて、少なくとも１年に１回期間経過ごとに構想を見直すことが必要と考えます。ま	ご意見のとおり、本構想の目標年次は２０４０年であり、今後２０年の間に社会情勢の変化や経済状況などの大きな変化も十分に予想されます。本構想の上位にあたり、市の羅針盤である第２次甲賀市総合	無	G

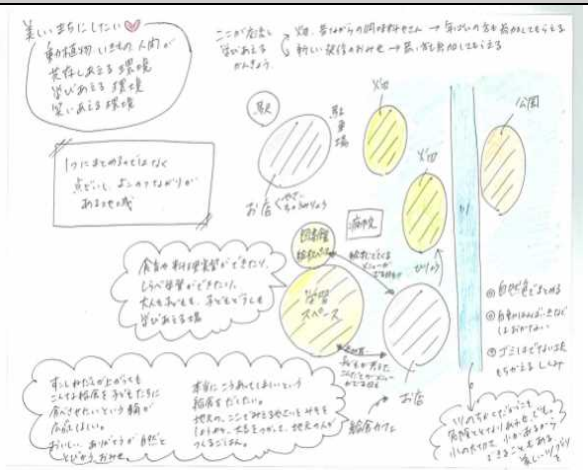
番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
			た、経緯経過については利害関係者に定期的に「丁寧な説明会」を開催し報告することが必要と考えます。	計画（第２期基本計画）については、令和６年までの４年間を計画期間としており、貴生川駅特区構想についても４年ごとに構想の考え方を再確認することとなります。特に具体的な手段である基本計画レベルにおいては、利害関係者などとの丁寧な意見交換の場を設けながら、進めてまいります。		
２４	２ページ	３．政策、分野別計画における位置づけ	パブコメに至るまでに開催された会議の議事録の情報公開をお願いしたい。いつ誰がどの立場で、どういう内容の発言をされたのかを公開し、市民からのチェック機能を活かすため、今後も会議議事録の情報公開が必須と思います。	貴生川駅周辺の活性化については、上位計画である第２次甲賀市総合計画において、過去よりその重要性が位置付けられています。本構想の策定にあたっては、貴生川地域区長会、貴生川地域自治振興会、貴生川みらい会議、商工会等で構成された「貴生川駅周辺都市づくりワーキンググループ」や庁内プロジェクトチーム、市議会等の公の場での議論を重ねたうえで策定されたものです。 議事録のホームページ等での公開の予定はありませんが、多様な市民の参画のもと、まとめられたものと考えており、今後、さらに具体的な事業を進めていくにあたり、利害関係者等との情報共有をしながら、合意形成を重視して進めてまいります。なお、情報公開請求等により、個別に議事録を確認いただくことは可能ですので、別途にお問い合わせくださいますようお願いします。	無	G
２５	３ページ	―	貴生川駅周辺整備によって人口減少が止められるのかが不安。草津線は存続すべきである。	市民意識調査によると、ＪＲ草津線の利便性の向上を求める声が多く、市内全域の人口増減に大きな影響を与えていることから、駅周辺の活性化がＪＲ草津線の維持、ひいては人口減少対策につながると考えています。また、本市の人口減少は、中山間地域からＪＲ琵琶湖線沿線や貴生川駅周辺への人口移動が顕著であり、駅周辺における人口集積機能の強化が、市全体の人口減少に歯止めをかけるものと考えています。	無	A

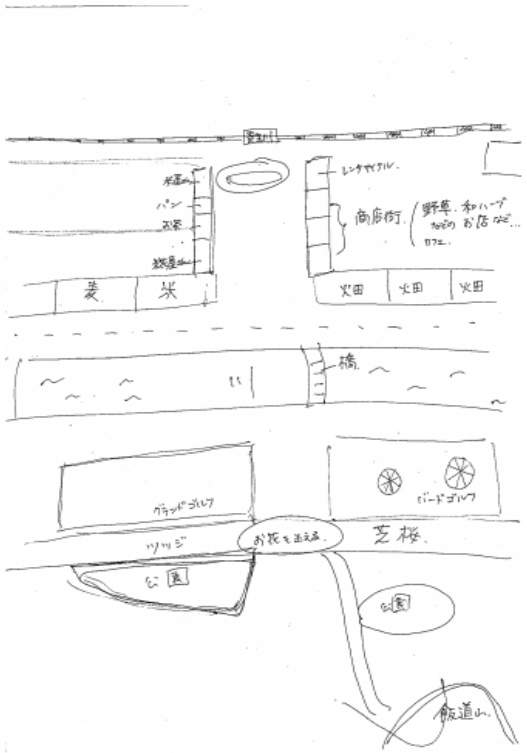
番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
２６	４ページ	―	貴生川駅の周辺ということですが、鉄道やバスの利用者に限らず車の利用者も含めて有効に利用できる環境を整えていただきたいです。市外からの来訪者（観光・居住・企業の営業）に甲賀市の良さを伝える場として、総合的な案内ができるような空間になってほしいと思います。そこで以下の３つを提案します。 １．貴生川駅南口に新しい複合施設の建設 機能１ ○市内全域の観光案内ができる場所。 ○貴生川駅に降りたら甲賀市の観光地がすべてわかる。 ○貴生川駅を拠点にして、鉄道・バス・レンタサイクルなどを利用すれば、市内の観光地を巡ることができる。 機能２ ○市民のコミュニティの場所。 ○活動の拠点 ○市民活動、サークル活動の場所 （現貴生川公民館の役割） ○子育て世代や高齢者世代の拠り所として、気軽におしゃべりできる場所 機能３ ○災害時の避難場所 ○災害発生の危険が生じて貴生川小学校に避難する必要がある場合に、杣川を渡って非難するのが困難となる住民が、安心して避難できる場所。 機能４ ○売店 ○コンビニ誘致	貴生川駅南口における様々な交流機能を高めるため、官民連携の複合拠点の整備を検討しているところです。ご提案いただいた「機能１」の観光案内機能については、貴生川地域自治振興会や観光協会など、実際に運営いただくプレイヤーの皆さんの意向等を確認させていただきます。「機能２」のコミュニティ機能については、利用者の皆さんの活動状況やニーズを踏まえて、貴生川公民館の現状や今後のあり方について検討してまいります。 「機能３」の災害時の避難場所については、地域住民の皆さんからも、災害への不安の声を多くいただいているところです。一方で貴生川駅南口は浸水想定区域であり、避難場所と位置付けるうえでは、安全性などの総合的な判断が必要となります。「機能４」の小売店等については、民間事業者の採算ベースにのることが重要となります。いずれの提案についても、関係団体や民間事業者へのサウンディング調査等を踏まえ、検討してまいります。	無	H

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
			○市内の特産物や観光地のお土産を販売 ○市民活動グループによる出店ができるスペース			
２７	４ページ	■課題	Ｐ４課題の３つ目の水害対策以外の全てが人の流れや人の流入が課題となっている。それならば施策は、全て人口の流れや流入という課題解決につながるものであるべきで、施策２の交流拠点の整備は課題解決のための施策ではないと感じる。施策２　交流拠点の整備につながる、課題の捉え方については、「駅利用客が北側に多く、南口の人の流れがない」のではなく、「駅南側には商業施設・公的施設もあるものの、空き地もあり、空間利用や人の流れ等の整備ができていない。」としてはどうか。そうすると方向性にも示されている「複合施設の誘致などによる駅南口の活性化」についても違和感なく理解できる。そもそも、駅北側の方が駅利用者の対象人が多いことから、たまたまそうなっているという現象だけで、課題ではないのでは・・・。	駅南口については、金融機関や公共施設、病院等があるものの、空閑地や低未利用地が増加しており、土地の有効活用が進んでいない状況です。駅周辺におけるエリアの価値を高めるためには、駅舎に近い南口の空閑地の活用が効率的かつ効果的であることから、官民連携による交流拠点の整備について検討してまいります。課題の捉え方については、文言を調整します。	有	Ｅ
２８	４ページ	■課題	課題１つ目「歴史名所旧跡や工業団地はあるが、人の流入増には至っていない。」とあり、「施策１魅力ある地域づくり」につなげるのであれば、課題は「歴史名所旧跡や工業団地はあるが、それらを活かしたまちづくりができていない。」としてはどうか。人の流入増を課題に含めたいのであれば、課題は「歴史名所旧跡や工業団地はあるが、それらを活かしたまちづくりができていないことから、人の増加に結び付いていない」等としてはどうか。	飯道山などの地域ならではの歴史に基づく「誇り」を守りながら、工業団地などの「働く場」と住宅地などの「暮らし」の職住近接が可能なエリアとしての「魅力」を高める取組が求められています。ご意見を踏まえ、課題の捉え方を調整します。	有	Ｅ

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
２９	４ページ	施策１ 魅力ある地域づくり	甲賀市は忍者をPRしていますが、飯道山は忍者の修業の場として知られております。しかしながら、他県のPRと比べると弱くまだまだ知る人ぞ知る状態ではないと思います。飯道山と忍者がつながるPRをすればどうでしょうか。	日本遺産「忍びの里　伊賀・甲賀」の構成文化財である飯道山を観光資源として活用するため、「飯道山周辺観光ルート整備活用計画」を策定したところです。また、昨年オープンした観光インフォメーションセンターを拠点として、周遊観光ルートとして飯道山を最大限に活用できるよう、関係機関とともにＰＲしてまいります。	無	B
３０	４ページ	施策１ 魅力ある地域づくり	三本柳ではかつて杣川が氾濫しないように人柱を行っていたそうです。それが人形に代わり、今では祭りとして継承されているそうです。総社神社においては麦酒祭りが行われています。こうした歴史文化的な行事も耳目を集めるのではないでしょうか。	本市の大きな魅力は、地域ならではの歴史、文化にあります。これらの歴史的・文化的行事を次世代に引き継ぐとともに、地域住民自らが「誇り」として発信できるよう、支援してまいります。	無	B
３１	４ページ	施策１ 魅力ある地域づくり	貴生川には昔から酒造会社があり、水が良いそうです。どぶろく特区にすれば酒造りが盛んになるのではないでしょうか。	濁酒を製造、販売したい市内農業者の有無や地域の関係団体等のご意見を踏まえ、魅力ある地域づくりの一環として、検討してまいります。	無	B
３２	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	人と人が集まる、話す、笑いあう場。時間をかけて丁寧にものを作る場。 「早い、便利、効率化」の裏側にある大切なことに気付ける地域づくり。	駅周辺における多文化、多世代交流の場づくりが必要であると考えています。貴生川駅周辺における事業展開が、持続可能な地域づくりにつながるよう、周辺地域の皆さまとの対話のうえで進めてまいります。	無	F
３３	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	「食」を正すことが環境や地域を正すことにつながる。すべての人のスタートが健康な身体。その土台となる「食」を大切にできる地域づくり。 食育畑で食育の学習やカフェ・ごはん屋さん。	貴生川駅周辺における地産地消や伝統的な食文化、健康づくりを中心とした地域活動が展開されるよう、市民活動団体や事業者等の意向等を確認したうえで、支援等を検討していまいります。食育畑やカフェ等については、行政自らが運営することは予定していませんが、周辺において、地域住民自らが運営されるにあたっての支援策等を模索してまいり	無	F

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
				ます。		
３４	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	夢の学習の広がり 「学びあう環境、教えあう環境、分かち合う環境、笑いあう環境」	「夢の学習」は、地域の小中学生と大人による地域の居場所づくりや、生涯学習による共生社会づくりを進める取組です。本構想に掲げる交流拠点では、地域住民のみならず、多文化、多世代交流を対象とすることを想定しています。	無	F
３５	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	新しいことに挑戦するお店（チャレンジショップ）。地場産ショップ。残しておきたいお店（味噌、醤油、みりん、塩、砂糖、伝統食、地域の食材）。	高齢者や女性、若者たちがいきいきと活躍する場づくりの一環として、スモールビジネス等へのチャレンジを応援する仕組みが必要です。駅周辺におけるチャレンジショップ等の創出については、駅南口の官民連携の交流拠点の検討を進めるなかで検討してまいります。	無	F
３６	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	まずはまちの人がまちを使うしくみを。魅力ある街づくりを。すばらしい甲賀市の人材を活用することで外部からも認められ、経済を回すことになるのではないか。	甲賀市の宝は「ひと」であり、多様なひとの力を結びつけることで、大きな力を生み出すことができます。そのような「ひと」と「ひと」を結びつける交流拠点として「甲賀市まちづくりセンターまるーむ」を整備したところであり、これらの結びつきが貴生川駅周辺においても活かすことができるよう、関係機関と調整してまいります。	無	F
３７	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	公園は体を使えるものであり、異年齢で助け合えるものである。	公園や緑地などのオープンスペースは、多世代交流により子どもの成長を促すとともに、暮らしの質を高めるものです。特にコロナ禍においては、外遊びやストレスの緩和効果が得られる場として再認識されたところであり、これらの機能を踏まえたうえで、駅周辺における公園の位置づけを検討してまいります。	無	F

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
３８	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり		民間主体による地域の食材や畑等を活かした食育交流拠点等の整備や、杣川を活かした交流の場づくりについて提言いただいたものと考えます。ご意見を参考としながら、駅南口における交流拠点の検討を進めてまいります。	無	F
３９	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	永続的に魅力ある「市の財産・魅力」（甲賀市にしかない観光資源や特産）をコア資源として、インフラ整備を優先しターゲット層の流入・定着を目指す構想でスモールスタートできないものだろうか？短期集客効果の商業施設誘致ではなく、「甲賀に行きたいと思える町作り」の構想を望みたい。	ご意見のとおり、これまでの行政主導のいわゆる「ハコモノ」を建てるだけでは効果は短期的なものとなり、持続性に課題があります。民間事業者や地域住民など、プレイヤー主導により活用方法を検討し、費用対効果を踏まえてスモールスタートとすることは、有効な選択肢であると考えています。南口における交流拠点の整備にあたっては、ご意見を踏まえ十分な検討をしてまいります。	無	G
４０	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	３．杣川運動公園の再整備 駅周辺から杣川河川敷に続く歩道を整備して杣川運動公園に繋げ、既存のグラウンドゴルフやゲートボールだけでなくウォーキングを楽しんだりもできる散策道路を造る。	杣川運動公園の利活用については、地域住民の皆さまとの意見交換のなかでも、期待されていたところです。 地域住民や利用者、河川管理者である県や関係団体と協議のうえ、検討してまいります。	無	H
４１	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	貴生川駅周辺を整備することで、ここに行ってみたい、ここが好き、ここに住みたい、住み続けたいと思う人が増えて、今まで以上に活気ある甲賀市になることを願っています。	市民、事業者等に「選ばれるまち」となるよう、本構想を進めてまいります。	無	H

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
４２	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	飯道山は昔忍者が修行していたので、野草・和ハーブ・健康をテーマに広場を作る。 　貴生川駅から飯道山を（グリーンベルト・サイクリングロード）で繋げる。  	公園などの市民が集うフリースペースは、「質の高い豊かな暮らし」や「にぎわい」を生み出すうえで、大きな意義をもつ施設です。一方で、市街地の公園は日常的に活用する人が「自らの公園」との意識付けがないまま整備されており、十分な活用ができていないケースも多くあります。これらのフリースペースにおいては、行政が主体的に継続してイベント等を企画、運営するのではなく、利用者が主体的に企画、運営することが持続可能性の視点からも望ましいと考えています。このことから、実際の利用者や企画、運営者を明確にしたのち、これらの整備を進める「パークマネジメント手法」による広場整備について、検討してまいります。 貴生川駅から飯道山へのルートについては、飯道山観光協会において、登山道の整備やハイキング等で活用いただいているところですが、修験道の聖地としての歴史、自然を活かした取組が進むよう、ご意見を踏まえ検討してまいります。	無	I
４３	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	貴生川学区には、鮮魚店が無く、結局水口へ買い物に出る状態であり、買い物難民に該当する人々にとっては大変です。是非、鮮魚店を誘致してもらいたい。	ご意見のとおり、貴生川駅周辺には生鮮食品店がないため、徒歩圏内における同機能の必要性について、地域住民の皆さまからも多くのご意見をいただいています。 一方で、民間事業者へのヒアリング調査によると、	無	J

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
				貴生川駅周辺における購買ニーズや自家用車によるアクセス性、水口地域における店舗数から見れば、貴生川地域での営業は採算ベースにのらず、出店することは難しいとの回答も得ています。現状では、民間事業者主体の出店は難しいところですが、今後、駅周辺の開発計画を進めることで、市場価値などの転換が生じることも十分に考えられることから、ご提案の内容についても視野に入れて事業を進めてまいります。		
４４	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	老人が気軽に集い、気晴らしできる喫茶施設	喫茶施設については、官民連携複合施設等において、出店を期待する機能として、視野に入れてまいります。 また、公民館は子ども、若者から高齢者まで、多世代交流による拠点機能を有しており、これらの施設における交流機能を活かすことも、検討する必要があります。	無	J
４５	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	甲賀市特産の農産物、果物等、活かした若者向けに人気が出る、生菓子、ジュース、サンドウィッチ、スイーツ等、専門家にも知恵を借りて、ヒットして大人気が出て、若者で賑わう、理想的な施設。	本市の地場産品等の魅力が民間事業を通じて持続的に発信できるよう、関係団体や市内外の事業者等のご意見を踏まえ、検討してまいります。	無	J
４６	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	甲賀病院計画があった山林周辺は野鳥の宝庫で是非、野鳥公園に。	野生の動植物と共存できる自然環境は、暮らしの質を高めるうえで重要な要素であり、水口こどもの森は里山を楽しめる身近な自然公園として維持してまいります。一方で、駅へのアクセス性を高める道路整備も必要であり、自然との調和による周辺整備を進めてまいります。	無	J
４７	４ページ	施策１	夏、日陰で水遊びができる環境があってほしいで	子どもの遊び場や公園の整備など、子育て環境の充	無	K

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
		魅力ある 地域づくり	す（川）。小さな子どもでも見守りつつ遊べるような。 アーミング→素足で走り回れる広場、遊び場	実に向けて、官民連携複合施設やフリースペースの形態について検討してまいります。		
４８	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	心や体を整えられる施設、スポット。 ○川辺でゆったり居るだけで癒される ○自律神経・整体・ヨガ・気功・酸素　風呂など、病気になりにくい体をつくる。 ○昔ながらの製法で作られた調味料や　野草（空き畑の活用）発酵食が買えるお店、食べられるお店、お総菜屋さん人と出会える場 ○趣味会（多世代）写真の会、ゴミ拾いの会、ヨガの会、運動の会、畑の会等学べる場 ○身体の事、心の事、暮らしの事、操作されていない本当のことが学べる場 ○このような流れの中に子どもも自由に参加できる	貴生川駅南口における交流機能を高めるため、官民連携の複合拠点の整備を検討しているところです。多世代交流や、暮らしの質の向上につながるような機能への期待も高いことから、ご提案の内容も踏まえて、具体的な検討を進めてまいります。	無	K
４９	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	どうしたらマチに愛着が湧くだろう。 自分がマチ創りに参加している実感。マチのみんなが幸せそう。社会に貢献できる喜び。自分の想いを聞いてもらえる。 ○アウトドアライブラリー（神戸市） 市民から寄贈された本を活用する ○誰でも働ける仕組み ○助産院、産後ケアもしっかり	ご意見のとおり、「ひと」と「ひと」がお互いに意見を交わし、対話を重ねるなかで、「このまちに関わっている」「みんなのために何かをしたい」という、いわゆるシビック・プライドが育まれていくものと考えています。 市民が主役のまちづくりをさらに進めるため、2019年にオープンした「甲賀市まちづくり活動センターまるーむ」は、市民活動の応援や社会貢献活動などの様々なチャレンジを応援することを狙いとしたものです。ご提案内容を参考として、本構想を進め	無	K

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
				てまいります。		
５０	４ページ	施策１ 魅力ある 地域づくり	少しだけ付け足してほしいもの ①簡単なランチができるカフェ ②生鮮食品が買えるお店 ⇒①、②は自治振興会などが中心となり住民が運営出来たら理想。（どこかの企業に来てもらうより、強いネットワークが作りやすい。元気な住民づくり。）若い女性が魅力を感じるところだと、彼氏を連れてくる→家族を連れてくる。	ご意見のとおり、貴生川駅周辺には生鮮食品店がなく、徒歩圏内における同機能の必要性については、地域住民の皆さまからも多くのご意見をいただいています。 一方で民間事業者へのヒアリング調査によると、貴生川駅周辺における購買ニーズや自家用車によるアクセス性、水口地域における同店舗数から見れば、貴生川地域での営業は採算ベースにのらず、出店することは難しいとの回答を得ています。現状では民間事業者主体の出店は難しいところですが、民間事業の取組に地域住民による協力体制を組み合わせることで、採算だけではないネットワークを構築することができます。自治振興会や地域住民の皆さまがこれらの活動にも主体的に関与いただくにあたっては、行政による支援検討してまいります。	無	L
５１	４ページ	施策２ 交流拠点の 整備	駅南口に老朽化した水口図書館を移設し、交流拠点として貴生川公民館や、防災強化のために指定避難所としての機能を持たした複合施設を用意していただきたいです。 ①図書館については駅を学生が利用することが多く、利便性が向上し市民の利益率も向上すると思われます。 ②貴生川公民館は老朽化が見受けられるため、避難場所として不安がある上、貴生川小学校までは杣川を渡る必要があり、貴生川地域側は増水時に避難が困難になるため、ある程度の人員が避難で	貴生川駅南口については、「駅周辺の定住人口の増加」「駅利用者の利便性の向上（利用者の増加）」「市内外から集客効果」「防災機能の強化」等を目的として、官民連携の交流拠点（複合施設）の整備を検討しているところです。 市内には旧５町より引き継いだ５つの図書館がありますが、老朽化や人口規模、利用状況を踏まえた機能の集約化が必要となっています。ご提案の貴生川駅南口における図書館の整備については、市全域における将来の図書館のあり方について、利用者や関係者と十分に協議したうえで、検討してまいりま	無	B

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
			きる施設が必要と思われます。	す。 また、貴生川駅周辺は浸水想定区域もあり、地域住民との意見交換のなかでも、防災に係る不安について多くのご意見をいただいています。官民連携の交流拠点における避難所機能については、安全性を十分に検討したうえで総合的に判断いたします。		
５２	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	南口側には貴生川地域市民センターがあるので、他の市民センターと同等の行政手続きができるようにしていただきたいです。	市内には２３の地域市民センターがあり、各種手続きができる４つの「中核」地域市民センターと、一定の手続きに限られる１９の「ブランチ」地域市民センターがあります。貴生川地域市民センターについては、後者にあたる施設ですが、年間各種証明の手続き数からみると一定整理が必要であると考えています。このことから、将来における地域市民センターの行政機能については、他地域の市民センターと併せて検討してまいります。	無	B
５３	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	杣川の河川敷を遊歩道の形で市民の憩いの場として活用できるよう整備していただきたいです。	地域ならでは資源を活かした「遊歩道」や「憩いのスペース」は、暮らしの質を高めるうえで大きな役割を持つものと考えます。河川敷の将来の活用や維持管理の方法については、自治振興会等の活用団体と協議のうえ、最適な導入形態について検討する必要があります。ご意見を参考とたうえで、今後の具体的な事業展開のなかで議論を深めてまいります。	無	B
５４	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	貴生川駅がＪＲ草津線、信楽高原鐵道、近江鉄道の三路線の連結点であることを踏まえ、付近住民のみならず、鉄道利用者（観光旅行者含む。）の便益を高めるには、次の諸点に留意しその目的を達成することが駅周辺の価値を高めることになるものと考えます。	市場調査によると、貴生川駅周辺の状況からみると、現状のままで生鮮食品店やスーパー等が出店する可能性は低く、出店しても収益をあげることは容易ではないとの回答を得たところです。これらの出店を促すためには、駅周辺の整備計画や投資計画等を明らかにすることが重要であり、本構想の策定に	無	C

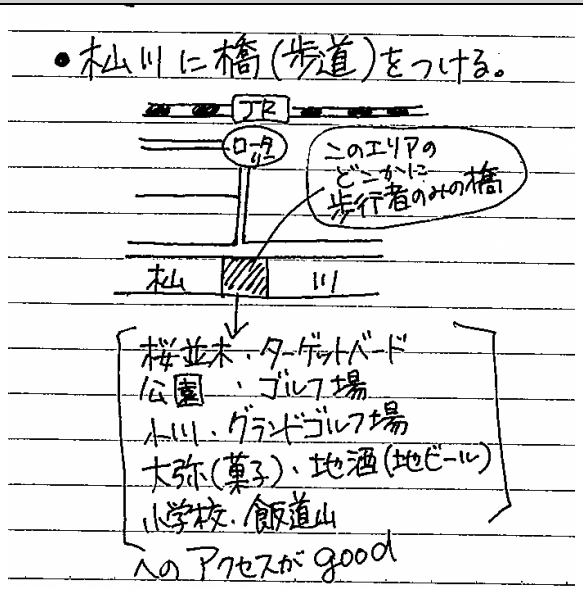
番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
			①駅周辺に中・小規模のスーパー等を設置するなどして付近住民、鉄道利用者の利便に寄与するよう図ること。	より、これらの民間投資が進むよう働きかけを強めてまいります。		
５５	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	③駅内部に、カフェ、ランチのスペースを確保し店舗を設置する。以上のようなこと等を考え、貴生川駅に行くのが楽しくなるような環境にすることが望まれる。このような駅になっていけば草津線の複線化をバックアップする効果にも繋がるのではないでしょうか。	駅舎における店舗の誘致は「にぎわい」や「利便性の向上」の視点から大きな意義がありますが、過去には駅舎内のキオスクが撤退しており、採算性等が大きな課題となるものと考えます。ご意見を参考としながら、草津線の利便性の向上、複線化に向けて最も効果的な取り組みを検討してまいります。	無	C
５６	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	現状の駅周辺は甲賀市の表玄関として非常に淋しい。駅利用の乗客も急ぎ足で帰宅する。駅周辺に買い物のできる店又は憩いのできる場所を甲賀病院等に通院されている方、電車利用の方に活気ある整備が必要と思います。	貴生川駅南口については、官民連携の交流拠点（複合施設）の整備に向けて検討しているところです。市場調査によると、現状では貴生川駅南口における民間企業の投資意欲は低く、小売店等が出店する可能性はない状況です。本構想を基本としながら、民間投資を促進するための手段等を検討し、活気ある整備につなげてまいります。	無	D
５７	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	駅南側に草津駅の様な高架として、下はバス停所、２階は売店等があったら非常に活気もあるように思う。甲賀市への観光客等にお土産等を置く様にしたらよい。草津線市内５駅に売店等がない。	ＪＲ草津駅のような高架歩道（ペデストリアンデッキ）は、自動車交通の多い駅周辺に設けられるケースが多く、市街地の限られた空間を有効に活用することができるものです。南口の土地利用を進めるうえでは、費用対効果を踏まえて検討するとともに、交流拠点における観光誘客については、今後、具体的な機能を検討していくなかで検討してまいります。	無	D
５８	４ページ	施策２ 交流拠点の	図書館は絵本を読むスペースであり、コミュニティ交流スペースとなる。	図書館は「記録された知識や情報を保存する」役割と「社会における知識や情報によるコミュニケーション」を図る役割があります。貴生川駅南口におけ	無	F

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
		整備		る「交流拠点」における図書スペース、交流スペースの確保については、今後、検討してまいります。		
５９	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	２．駅前公園の整備 公共交通の時間待ちや、気の合う仲間や家族などが気楽に休憩したり小腹を満たしたりできるような建物を有する広場。マルシェやライブコンサートなど、市民が集まれるフリースペース	公園などの市民が集うフリースペースは、「質の高い豊かな暮らし」や「にぎわい」を生み出すうえで、大きな意義をもつ施設です。一方で、市街地の公園は日常的に活用する人が「自らの公園」との意識付けがないまま整備されており、十分な活用ができていないケースも多くあります。これらのフリースペースにおいては、行政が主体的に継続してイベント等を企画、運営するのではなく、利用者が主体的に企画、運営することが持続可能性の視点からも望ましいと考えています。このことから、実際の利用者や企画、運営者を明確にしたのち、これらの整備を進める「パークマネジメント手法」による広場整備について、検討してまいります。	無	H
６０	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	甲賀市の特産品、展示、販売及び市内観光案内地図と映像施設	貴生川駅南口における交流機能を高めるため、官民連携の複合拠点の整備を検討しているところです。観光案内機能を設けるにあたっては、貴生川地域自治振興会や観光協会等の実際に運営いただくプレイヤーの皆さまの意向を確認するとともに、特産品販売等にあたっては採算等の収支も踏まえて検討してまいります。	無	J
６１	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	「人が好き　この街が好き」がテーマ。住んでいる人みんなが「ずっと住み続けたい」と思えるような「持続可能な」まちづくりを進めてほしいです。現在「この街はそこそこ住みやすい」と感じている人が多いかと思います。例えば、	貴生川駅周辺で「新しい豊かさ」を感じ、住み続けたいと思えるエリアの形成を目指していきたいと考えています。これらの実現にあたっては、暮らしの「利便性」と「質」を高めていくことが重要であり、その手段のひとつが「交流拠点」の整備となり	無	L

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
			最小限のハコモノを必要に応じて付け加えていけば、建設費や取り壊しの費用も少なくて済みます。	ます。施設の規模感や基本計画については、今後検討を深めていくところであり、ご意見を踏まえて検討してまいります。		
６２	４ページ	施策２ 交流拠点の整備	「すでにあるもの」に着目する。 ①近江鉄道（湖北へ→新幹線。サイクルトレイン、レトロな各駅舎） ②信楽高原鐵道（陶芸、お茶） ③飯道山…ハイキング・登山→健康づくり、薬草（和のハーブ）の豊庫 →施薬院全宗（豊臣秀吉の医方）の故郷 診療所…未病のための情報発信を拡大させる	既存の機能や地域資源など、「あるもの活かし」の発想を大切にしたうえで、これらの資源を有機的につなげるための機能が交流拠点として、駅南口に備わることが理想的と考えています。	無	L
６３	４ページ	施策２ 交流拠点の整備 施策３ 防災の強化	老朽化した公民館を建て直し、災害時には司令塔となる複合施設が必要です。複合施設には図書館をはじめ、高齢者、子育て世代、学生などが集える催事、教室、遊び場などを提供します。 とにかく多くの人が自然に集まって、友だちを増やし、顔見知りになり、コミュニケーションが取れる場になれば理想だと思います。	貴生川駅南口については、「駅周辺の定住人口の増加」「駅利用者の利便性の向上（利用者の増加）」「市内外から集客効果」「防災機能の強化」等を目的として、官民連携の交流拠点（複合施設）の整備に向けて検討しているところです。 市内には旧５町より引き継いだ５つの図書館がありますが、建物性能や人口規模、利用状況を踏まえた機能の集約化が必要となっています。このことから、ご提案の貴生川駅南口における図書館の整備については、市全域における将来の図書館のあり方について、関係者と十分に協議したうえで検討してまいります。	無	N

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
				また、貴生川公民館については、生涯学習の拠点として多くの利用がありますが、1972 年築の施設であることから老朽化も著しいため、本構想の具体化を図るなかで、コミュニティ機能を維持する方法を検討してまいります。		
６４	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	貴生川―希望ヶ丘の道路整備をお願いします。	令和２年度より測量、設計業務を進めているところであり、早期の工事着手に向けて、継続して業務を進めてまいります。	無	B
６５	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	ＪＲ草津線、貴生川―草津間における快速・新快速の運行を行ってもらえるようにＪＲに働きかけていただきたいです。草津線の乗降客は草津駅が一番多く、次いで貴生川駅だと聞いております。接続をうまく行って京都、大阪までのアクセスが良くなれば貴生川駅周辺に居住する人も増えるのではないでしょうか。	ＪＲ草津線の利便性の向上は多くの市民の希望であり、企業、観光者等の利便性の向上のためにも、ＪＲ西日本に対して、ダイヤ増便や複線化について毎年要望しているところです。ご意見を踏まえ、今後とも強く要望してまいります。	無	B
６６	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	②甲賀市内の各地域から駅へのアクセス（バス利用者等）の利便を図り、かつ費用を安価にすること。	鉄道とコミュニティバスの接続や利便性を高めることは、公共交通の利用促進を図るうえで重要な取り組みです。一方で、コミュニティバスの年間運行経費 3.6 億円に対し、運賃収入は 0.7 億円と多額の欠損が生じており、運行形態や路線そのものを見直す必要性があります。 基幹交通である駅へのアクセス性を維持したうえで、これらの見直しを検討してまいります。	無	C

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
６７	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	駅北側の信号交差点から北内貴橋に直通道路を造る。朝夕の通勤時の混雑の緩和ができ、競技場、看護学校にも便利。	駅北側交差点から内貴橋への新設道路については、地形や法令等の制限など、多くの課題をクリアする必要があります。このことから、水口を南北に接続する駅へのアクセス道路として、県道泉水口線の南林口交差点（コメダ珈琲店　水口店付近）から途中野洲川を越えて、北内貴に接続する（仮称）水口北内貴線の検討を進めているところです。	無	D
６８	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	駅北側のロータリーの改善拡張を。観光バス及び送迎されている車、夕方信号機近くまで駐車・停止されている。	駅への送迎等のため、一時的に停車する車両が多い状況であり、混雑緩和の方法について検討してまいります。	無	D
６９	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	教えていただきたいということを一つ。 希望ヶ丘（甲南）から貴生川駅につながる道の建設が進められると聞いています。その道はどのくらいの利用が見込めるのか。利用率の試算（人数？）と予算はつり合うのか教えてほしいです。	ご質問の道路は、貴生川駅北側を起点として、途中、国道３０７号を経由し、甲南町希望ケ丘を終点とする（仮称）虫生野希望ケ丘線の道路整備事業です。現在、設計業務の段階であり、詳細な事業費は算出できていませんが、本道路の整備により、希望ケ丘方面からだけでなく、国道３０７号から貴生川駅へのアクセスが向上するとともに、朝夕の虫生野中央交差点の渋滞緩和にも効果があると考えています。事業費等については、今後の検討過程のなかで公表してまいります。	無	L

番号	ページ（意見照会時）	計画（案）の該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の考え方	修正の有無	備考
７０	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備		杣川への歩行者専用橋梁の整備については、議会の一般質問等でもご提案いただいているところであり、安全な通学路の確保は大きな課題でもあります。一方で、当該地より上下流（近隣）に２つの橋梁があり、市内全体の道路整備の緊急性、安全性を踏まえると、ご提案の橋梁を近年中に整備することは困難であると考えています。 このことから、通学路の安全確保として、北杣橋の改良等を視野に入れて検討してまいります。	無	L
７１	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	市内一番の人数を抱える貴生川小学校の通学する北杣橋はご存知の通り小学生、中・高校生の自転車、通勤者の自転車が交錯する橋です。特に雨天時は危険を伴います。このため以前から小学校の強い要望として小学校から貴生川駅に直線で結ぶ歩道専用橋を設ける要望が出ています。是非とも児童の安全を配慮し今回の特区構想に含め実現してほしい。（特にスクールガード５年の経験を通し現橋の危険性を感じている。）	スクールガードとして、日々児童の安全安心を確保いただいておりますこと感謝申しあげます。ご提案のとおり、北杣橋の安全対策の必要性は、十分に認識しているところでありますが、杣川への単独歩行者専用橋梁の整備には、多くの時間と多大な事業費を要することになります。このことから、安全・安心な通学路確保に向け、北杣橋の歩道拡幅に向けて、整備手法を含めて、県と協議を重ねてまいります。	無	M
７２	４ページ	施策４ アクセス 道路の整備	駅周辺のサイクリングロードの整備 周辺は社寺、山等の観光地で週末は登山者が多く、周辺の観光地には見るべきものも多い。中途半端になっているロードの再整備が至急必要。	市内には歩道整備を求める要望も多く、市民の安全・安心のための歩道整備を最優先で進めています。現時点での自転車専用道路の整備は困難ですが、今後、県や担当部局との連携を図りながら検討	無	M

番号	ページ （意見照会時）	計画（案）の 該当箇所	いただいたご意見	ご意見に対する市の 考え方	修正の 有無	備考
				してまいります。		

貴生川駅周辺特区構想

（基本方針）

令和３年７月１２日

甲賀市

１．概況

○本市は西日本と東日本、日本海側と太平洋側の文化・産業の結節点にあり、将来に向けては、名神名阪連絡道路や、近隣市におけるリニア中央新幹線の整備など、道路、鉄軌道の利便性はさらに高まります。

○本市の交通結節点であり、玄関口ともいえる貴生川駅周辺のポテンシャルは、これまで十分に活かされてきたとはいえません。

○人口減少により、中山間地域の日常の暮らし、公共交通を守ることが難しくなるなかにおいても、貴生川駅は鉄道やバス路線等の公共交通のハブとしての機能を維持しつづけなければなりません。

○ＪＲ草津線を中心とする貴生川駅の利便性の低下は、周辺エリアへの悪影響だけに留まらず、市全体の「まち」「ひと」「しごと」の地盤沈下につながります。

２．目的

本構想は、貴生川駅周辺がもつ、市外への人口流出を留める機能をさらに高めるとともに、経済的に周辺地域を牽引する特別なエリアとするための方向性をまとめ、市民、議会、行政等で共有することを目的として策定します。

３．目標年次

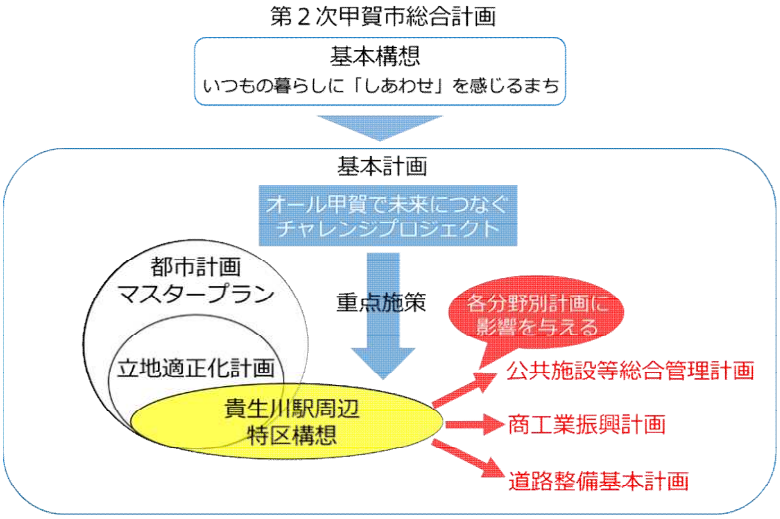
本市の高齢者数のピークでもある２０４０年に効果を発揮できるよう順次施策を展開します。

４．政策、分野別計画における位置付け

○本構想は第２次甲賀市総合計画の分野別計画に位置づけられるとともに、都市計画マスタープランや立地適正化計画の方向性を踏襲した構想となります。

○本構想を多元・多層の市民参加で策定する過程において、既存の計画等の前提条件にこだわり過ぎることで、貴生川駅周辺の将来の可能性を制限することは適切ではありません。

○今後の検討過程で、将来の目指す姿が明確となるなか、各分野別計画の見直しが必要となる場合は、積極的に見直しをかけるなど、各部分野別計画への影響力をもつ構想と位置付けます。



５．生み出す効果

本市の将来像を見据えたうえで、生み出す効果を定めます。

ア．人口流出を留める機能の強化

○本市の人口移動は、土山、甲賀、信楽の中山間地域から、ＪＲ草津線沿線への市内移動と、草津市、栗東市などのＪＲ琵琶湖線沿線への市外流出が多くを占めています。

○市内移動については、貴生川駅周辺への子育て世代の移動が多く、中山間地域に親世代、財産（家屋、山林、田畑）を残した世帯分離により、将来に不安を抱えています。

○これらの子育て世代が市内に留まり、市外への流出を防ぐことは、三世代近居による子育てにかかる負担の軽減や、財産の適切な維持管理を促すことにもつながります。

○自動車に頼ることなく暮らすことができ、「働く」ことを目的とした移住者や高齢者にとって、これまで以上に利便性の高いエリアでなければなりません。

【効果】
貴生川駅周辺における「ひと」「しごと」の流出を留める機能を高めるため、暮らしに必要な機能を集約するとともに、近居及び週末多世代同居により、中山間地域に残された財産の適切な維持管理を促進します。

イ．活性化の波及効果を市内全域に及ぼす

○本市における社会減の大きな要因は「公共交通」にあり、特にＪＲ草津線の利便性は、市内全域の若者の転出入に大きく影響します。

○仮にＪＲ草津線が存続の危機となれば、通勤者だけでなく、高校生・大学生は通学等の日常の移動ができなくなり、保護者への過剰な負担が必要となるだけでなく、コミュニティバス等への行政の財政的支出は莫大なものとなります。

○ＪＲ草津線の駅乗降客の半数近くを占める貴生川駅を維持することは、市全域に住む若い世代が安心して働ける雇用の「場」と「質」を守ることとなり、中山間地域に「ひと」を呼び込むことで、地域ならではの歴史や文化を守ることにつながります。

【効果】
貴生川駅の公共交通結節点としての機能を高め、貴生川駅周辺地域の魅力を高めることで、市内全域への好循環を生み出します。

ウ．エリアの価値の向上による税収の確保

○人口減少により、市内全域の土地利用ニーズが低下し、全ての地域で地価が下落傾向にあります。

○貴生川駅周辺の地価の低下は比較的緩やかであることから、このメリットを活かし、エリアのブランド力を向上させ、税収を確保することは、行政経営の持続可能性を高めることになります。

○周辺地域の将来の公共投資を明らかにすることは、さらなる民間投資を呼び込むことにつながります。

【効果】
まちの利便性、暮らしの質感を高めることによって地価を維持し、固定資産税、法人税、住民税等を確保します。

貴生川駅周辺のまちづくりの方向性

■課題

（１）地域ならでは歴史・文化や、工業団地、住宅地の魅力が十分に活かせていない。
（２）駅南口における金融機関、公共施設、空閑地等が有効に活用できていない。
（３）河川氾濫の危険性があり大雨時は避難情報の発令頻度が高い。
（４）幹線道路が駅周辺と直結していないため、「ひと」の流れが停滞している。

■対策

（１）飯道山などの地域資源の活用、子育て・教育・介護環境の充実、住む場所・働く場所の確保に取り組むことで人を呼び込む。
（２）官民複合施設の建設や民間施設の誘致により、駅南口の活性化を図る。
（３）大雨に耐え得る水害対策の強化、防災機能の充実に取り組む。
（４）甲賀市の玄関口として駅を起点とする道路交通網の整備を進める。

施策１ 魅力ある地域づくり

新たな人口の流入

独自の文化や魅力に磨きをかけ、市内外から「ひと」や「しごと」、消費を呼び込むための仕組みや基盤整備を進めることで、あらゆる世代の心豊かな“暮らし”の質を高めます。

施策２ 交流拠点の整備

エリア価値の向上

公共交通の結節点である貴生川駅の周辺において、官民連携の交流拠点が生まれることにより、エリアの価値を高め、その波及効果を市全域に拡げます。

施策３ 防災の強化

安全安心なまちづくり

市内外の交流人口を支える駅周辺地域の防災機能を高めることで、本市における通勤・通学手段や生活・事業活動の安全安心を確保します。

施策４ アクセス環境の整備

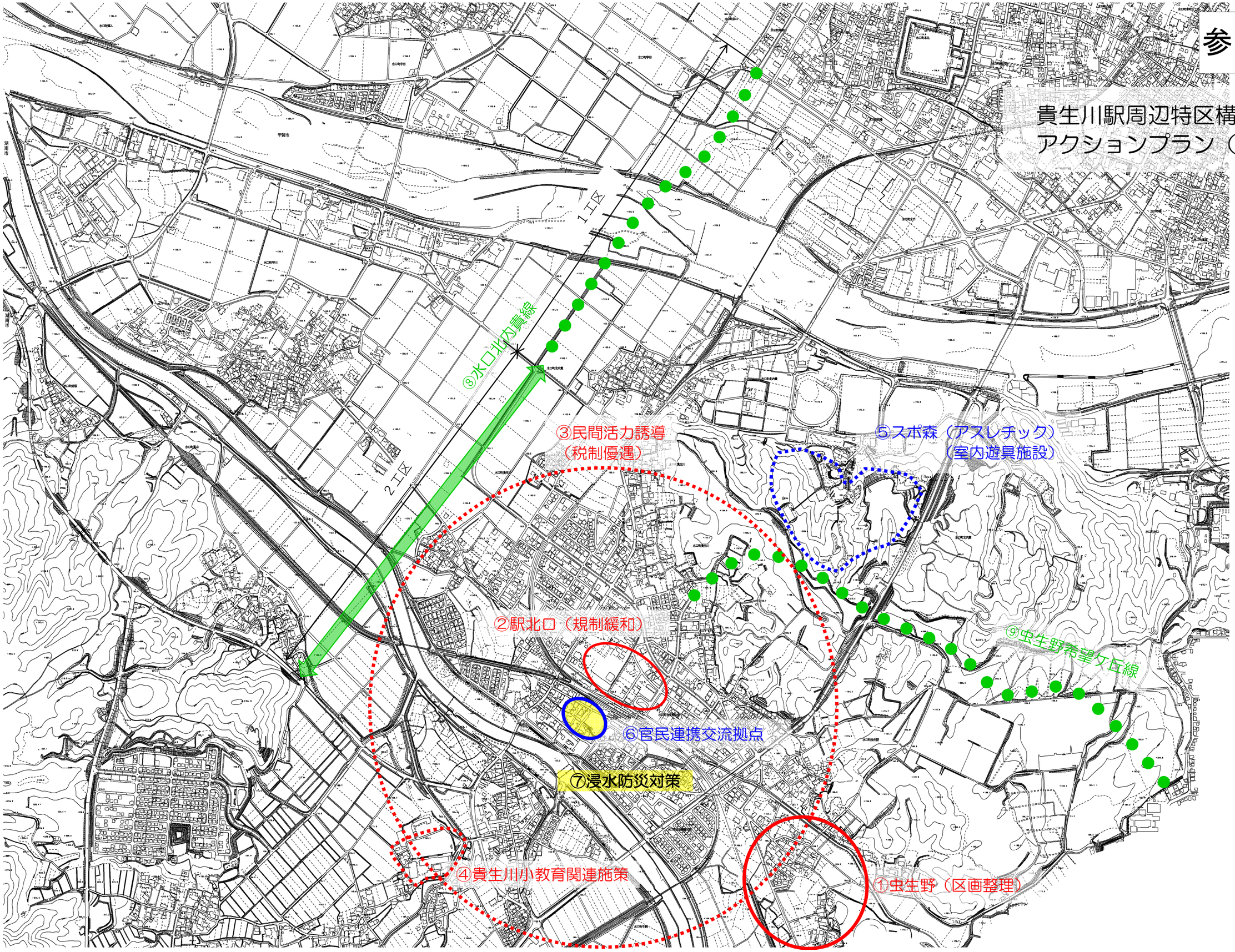
甲賀市の玄関口としての役割

駅周辺地域へのアクセス性を高め、周辺地域との一体的な活用が進むことにより、新たな「ひと」の流れを創出します。

参考資料

貴生川駅周辺特区構想 アクションプラン（案）

番号	施策	所管課	事業名	概要	実施スケジュール（予定）																				
					前期										後期										
					R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
					2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
1	施策１ 魅力ある地域づくり	都市計画課	虫生野東部 （区画整理）	虫生野地先　約6.6ｈａ																					
2	施策１ 魅力ある地域づくり	都市計画課	駅北口規制緩和	都市計画の変更（容積率の緩和）																					
3	施策１ 魅力ある地域づくり	商工労政課	民間活力誘導	商工業振興のインセンティブ（税制優遇等）																					
4	施策１ 魅力ある地域づくり	学校教育課	貴生川小教育関連施策	貴生川小学校教科担任制度ほか																					
5	施策２ 交流拠点の整備	建設管理課	水口スポーツの森	自然体験施設、アスレチック、室内遊具施設等																					
6	施策２ 交流拠点の整備 施策３ 防災の強化	都市計画課 政策推進課 子育て政策課 商工労政課	官民連携交流拠点整備	駅南口の再開発（コミュニティセンター、防災、コワーキングスペース、子育て支援施設等）																					
7	施策３ 防災の強化	建設事業課	浸水対策	雨水排水																					
8	施策４ アクセス環境の整備	建設事業課	水口北内貴線	※県道としての事業化を検討中 南林口交差点～北内貴～県道草津伊賀線 L=2.5km																					
9	施策４ アクセス環境の整備	建設事業課	虫生野希望ケ丘線	希望ケ丘～貴生川駅を結ぶ市道整備 L=2.0km																					

参考資料

貴生川駅周辺特区構想
アクションプラン（位置図）